



平成21年5月15日

各 位

会 社 名 株式会社 富士ピー・エス
代表者名 代表取締役社長 長尾 徳博
(コード 1848 大証2部、福証)
問合せ先 取締役専務執行役員
経営企画室長 内野 寛
(Tel. 092-721-3471)

「継続企業の前提に関する注記」の記載解消に関するお知らせ

当社は、平成21年3月期決算短信において、「継続企業の前提に関する注記」の記載を解消することになりましたのでお知らせいたします。

記

当社は連結及び個別において、平成19年3月期以降、多額の営業損失を計上するなど継続企業の前提に関する重要な疑義が存在しており、「継続企業の前提に関する注記」を平成21年3月期第3四半期まで記載しておりました。

確実な経営再建を実現するための「第2次経営再建中期計画」に基づき、平成21年3月期第4四半期に年間約12億円の固定費削減が見込める大きな経営改革を断行した結果、平成22年3月期以降の業績黒字確保に目処が立つとともに、同計画の蓋然性と改革実行が金融機関の評価を受け、今後の事業資金に関する金融機関からの支援体制を確保することができました。

また、新たに大株主から常勤取締役を受け入れることで経営陣の強化を図り、同計画必達に向けて盤石の経営体制を確立することとしました。

世界的な景気悪化から我が国の建設市場は不透明な状況下にはありますが、事業資金の安定性確保、低コスト構造の確立、戦略的な受注・施工体制の確立、経営陣の強化が実現するとともに新年度期初から受注も順調に推移しており、平成22年3月期の事業継続に当たっての重要な不確実性は存在しないとの判断から、本日公表の決算短信において注記記載が不要となったため当該注記を解消することといたしました。

以 上